

令和5年度

# 第2回 進路説明会

(令和6年度入学者選抜)



令和5年10月13日(金)

稲城市立稲城第四中学校

# 目 次

<b>1</b>	進路選択の決定にあたって	1
<b>2</b>	入試日程	2
<b>3</b>	都立高校の入試について	3～6
<b>4</b>	私立高校の入試について	7
<b>5</b>	私立高校「推薦入試」受験での注意点	8
<b>6</b>	「推薦」について	8～9
<b>7</b>	(都立高校・私立高校)受験する際のパターン	9～12
<b>8</b>	私立高校の延納制度	13
<b>9</b>	連絡事項	13
<b>10</b>	令和6年度の入試日程	14

# 1 進路選択の決定にあたって

## (ア) 学校の基本的な姿勢について

第1回進路説明会でもお話ししたとおり、進路選択は、生徒自身や御家庭の御意見で志望先が決定され、学校はそれに対して「アドバイス」を行います。もちろん、意思決定に当たっての判断のもととなる資料はできるだけ豊富に、正確にお伝えしたいと思っています。最終的な決定は、あくまで御家庭ですので、よろしく願います。

担任から、三者面談の際に次の点についてお話しします。

- 志望校に関する相談
- 受験方法の確認（推薦受験か一般受験か）
- 調査書の記載内容の確認

## (イ) 学年体制について

### ◆指導の窓口は担任

進路決定において、高校や就職先との連絡などで間違いがあってはなりません。そのために、学年としては保護者との連絡や高校との連絡などについては、学年全体の了解に基づいて、進めていくこととなります。これらが円滑に進行するためにも、相談は必ず担任を通してください。

### ◆担任の意見は学年の意見

担任が相談の際にアドバイスする内容は、学年で検討し、判断した内容です。学年として検討する機会を十分にとって、そのうえで個々のケースについての相談に臨みます。

## (ウ) 家庭にお願いしたいこと

◆子どもと一緒に進路についてよく話し合い、考えをすり合わせたうえで三者面談に臨んでください。

◆推薦基準を学校のランク付けと考えることなく、子どもの将来の希望、学校の特色をよく考え合わせた上で志望校を選んでください。

◆志望校として考えられる学校には、必ず一度は学校見学会や説明会等に参加し、学校の特色や自分との「相性」などを確認しておきましょう。

◆募集要項などは必ず保護者が目を通し、手続きの際にはミスのないようご注意ください。また、インターネット出願になっている学校が多いです。登録などの出願方法を確認し、期限内に余裕をもって手続きをしてください。書類の提出、受検（験）料や入学金等、期限が過ぎてしまった場合など、取り返しのつかない事態につながる場合があります。なお、同様に中学校への書類提出も、提出期限を守っていただくよう、重ねてお願いいたします。

（注意）書類に保護者印を押す場合は、朱肉印を使用してください。



## 2 入試日程

### 都立高校入試日程

- ◆ あらかじめ募集人員を「分割前期」と「分割後期」に分けて行う学校があります。
- ◆ 第一次募集後、募集人員に達しない学校では、第二次募集を行います。既に国私立高校に入学手続きを終えている場合、「分割後期」「第二次募集」への出願はやめてください。
- ◆ 通信制課程の入学者選抜については別に定めています。(担任と確認)
- ◆ 都立高校に関する書類(願書・考査料納付書・自己PRカード等)は、一部の高校を除き、中学校を通して配布されます。  
国私立高校に関する書類は、指定の期日までに各自で準備してください。

**※本枠部…全校インターネット出願です！！入力は12月20日(水)からできます。**

募集内容	推薦入試		一般入試	
	一般推薦 特別推薦	第一次募集・ 分割前期	第二次募集・ 分割後期(追検査)	定時制二次
出 願	1月12日(金) ～18日(木)	1月31日(水)～ 2月6日(火)	3月6日(水)	3月21日(木)
志願変更(取下げ)		2月13日(月)	3月7日(木)	3月22日(金)
志願変更(再提出)		2月14日(火)	3月8日(金)	3月25日(月)
学力検査		2月21日(水)	3月9日(土)	3月26日(火)
面接・実技検査	1月26日(金) 27日(土)	2月21日(水) ※一部で実施	3月9日(土) ※一部で実施	
合格発表	2月 2日(金)	3月1日(金)	3月14日(木)	3月27日(水)
入学手続き	2月 2日(金) 5日(月)	3月1日(金) 4日(月)	3月14日(木) 15日(金)	3月27日(水) 28日(木)
備 考	合格したら入学確 約書を提出。	全日制・定時制で 時間帯が異なる。	募集人員は 少ない。	願書は窓口へ持参 する。

※ インフルエンザ等学校感染症罹(り)患者等に対する追検査は、分割後期募集及び全日制第二次募集の日程で実施する。

### 私立高校入試日程

- ◆ 各学校によって、日程や内容などが異なります。要項をよく読んで確認し、間違いのないようにして下さい。

	推薦入試	一般入試・第二志望優遇
出 願	1/15(月)～	1/25(木)～
学力検査		2/10(土)～
面接・作文・ 適性検査など	1/22(月)～	※一部で実施
合格発表	当日や翌日(郵送・Web等)	当日や翌日(郵送・Web等)

### 3 都立高校の入試について

#### 変更点

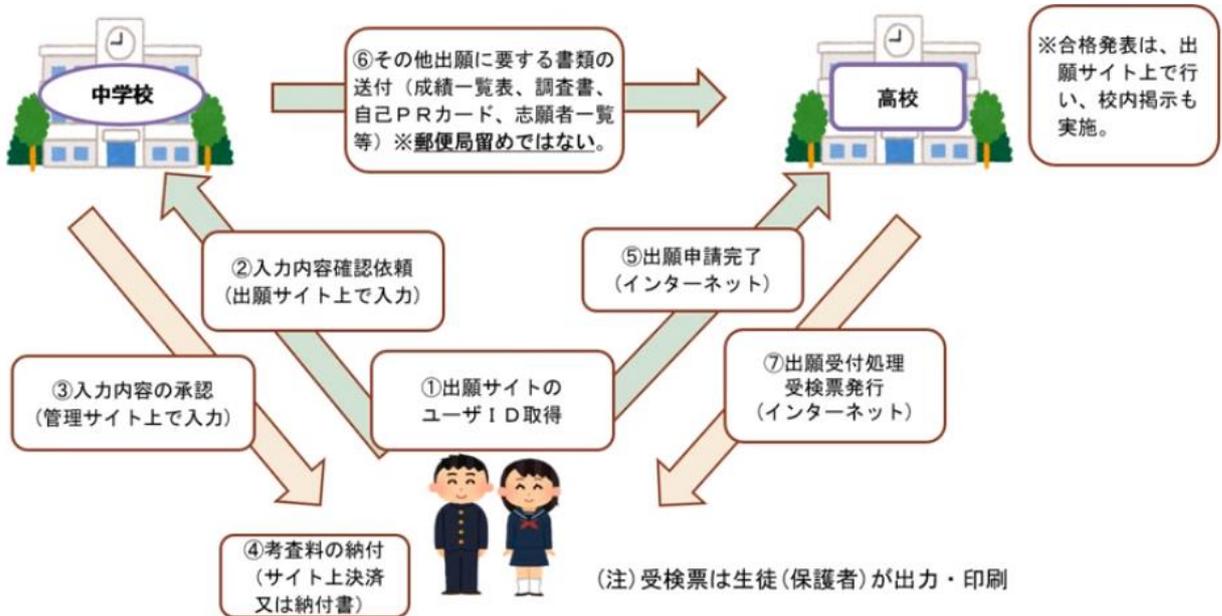
#### ◎男女合同選抜の実施

全都立高校の推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集において、男女合同選抜が実施されます。性別に関係なく成績順で合格者が決定します。

#### 都立高校の一般入試について

##### ① インターネット出願

第一次募集・分割前期募集において、インターネットを活用した出願を全校で実施します。

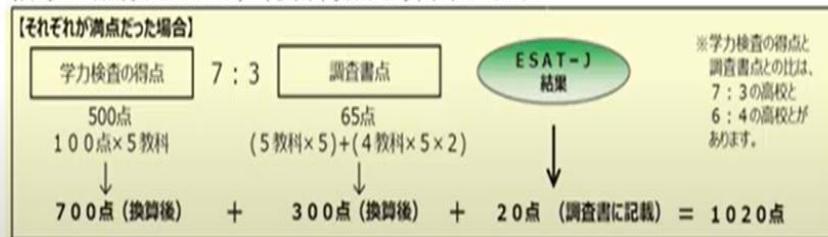


※やむを得ずインターネット出願を行えない志願者は所定の入学願書を用いて出願を行う。

② 第一次募集・分割前期募集の選考にスピーキングテスト（ESAT-J）の結果が活用されます。

#### ▶ 総合得点の算出について

都立高等学校では、学力検査の得点と調査書点の合計にESAT-J結果の点数を加え、総合得点を算出します



(評価) A : 20点  
B : 16点  
C : 12点  
D : 8点  
E : 4点  
F : 0点

本試験 令和5年11月26日(日)13時試験開始 15時40分解散(予定)  
 予備日 令和5年12月17日(日)13時試験開始 15時40分解散(予定)  
 実施会場 確定次第お知らせ致します。(都立学校、民間施設等)

③ 第一次募集・分割前期募集の選考

学力検査の得点、調査書点、点数化したスピーキングテスト結果のほか、面接、小論文又は作文、実技検査(実施する学校)の点数を総合した成績で選考されます。

学力検査の 得点	調査書点	スピーキング テスト結果	面接点 (※)	小論文又は 作文点 (※)	実技検査点 (※)
総合得点					
(※) 総合得点					

(※) 面接、小論文又は作文、実技検査は、実施する学校の場合

④ 学力検査の得点と調査書点の比率

全日制過程の第一次募集・分割前期募集では、原則として、「7:3」、分割後期募集・第二次募集では、原則として、「6:4」になります。ただし、芸術及び体育に関する学科については、学力検査が3教科となることから、どちらの募集も「6:4」となります。

定時制課程の第一次募集・分割前期募集では、原則として、「7:3」又は「6:4」のどちらかを各学校が定め、分割後期募集・第二次募集では、原則として、「6:4」又は「5:5」のどちらかを各学校が定めます。

		学力検査と 調査書の比率			学力検査と 調査書の比率
全日制過程	第一次募集・ 分割前期募集	7:3	定時制課程	第一次募集・ 分割前期募集	7:3 又は 6:4 (各学校で)
	分割後期募 集・第二次募 集	6:4		分割後期募 集・第二次募 集	6:4 又は 5:5 (各学校で)

⑤ 学力検査に基づく入試における調査書点

学力検査を実施する教科の評定の合計に、学力検査を実施しない教科の評定の合計を2倍して点数化します。学力検査が3教科(国語・数学・英語)の場合には、これらを除いた6教科の評定の合計を2倍して点数化します。

⑥ 自己PRカード

面接を実施する高校は出願の際に提出します。自己PRカードは点数化されません。面接資料として活用されます。出願時に提出していない高校には、各高校で指定した「入学関係書類提出日」に提出することになります。

### ⑦ 学力検査問題の自校作成

#### ◇全日制

第一次募集において、自校で作成した学力検査問題3教科（国語・数学・英語）と都立高校共通問題2教科（社会・理科）により実施する。

- ・日比谷      ・戸山      ・青山      ・西      ・八王子東      ・立川      ・国立
- ・新宿      ・墨田川      ・国分寺      ・国際（英語のみ自校作成問題）

#### ◇定時制

第一次募集・分割前期募集において、自校で作成した学力問題3教科（国語・数学・英語）を実施する。

- ・農産      ・八王子拓真（一般枠）

### ⑧ 志願変更について

第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集において、チャレンジスクール、八王子拓真高校（チャレンジ枠）、分割募集を行う定時制単位制高校から全日制高校への志願変更について、1回に限り行うことができる。

#### ◇第一次募集・分割前期募集での「取り下げ」・「再提出」について

		再提出	全日制	定 時 制		
				定 時 制 単 位 制		定時制単位制以外
取下げ			チャレンジスクール、八王子拓真（チャレンジ枠）、 *グループA	グループB		
全 日 制		○	×	×	×	×
定 時 制 単 位 制	定 時 制 単 位 制	○	○	×	×	×
	グループA	×	×	×	×	×
	グループB	×	×	×	×	×
定時制単位制以外		×	×	×	×	×

\*グループAとは、一橋、浅草、荻窪、八王子拓真（一般枠）、砂川高校をいう。

\*グループBとは、新宿山吹、六郷工科、飛鳥、板橋有徳、青梅総合、東久留米総合高校をいう。

## 都立高校の推薦入試について

◆都立高校への推薦入試については、私立高校のような推薦基準や入試相談はありません。

◆「推薦」入試で合格したら、必ず入学することが条件です。入学を辞退することはできません。また、合格後に他校を受験することも控えてください。東京都内の多くの中学生が第一志望の学校への進学を目指しています。不要な受験はくれぐれもお控えください。

① インターネット出願…P.3と同様です。

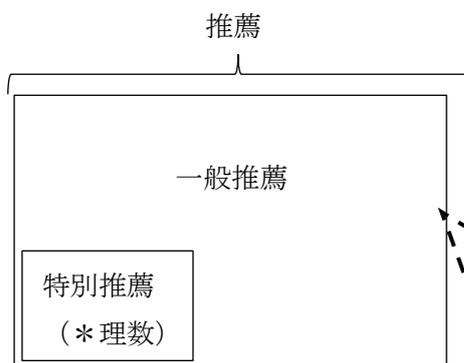
② 個人面接・集団討論について

- ・一般推薦では、原則として志願者全員に個人面接を実施する。
- ・**集団討論は、必要と判断した都立高校**において実施する。

(集団討論実施校…西、北園、篠崎、調布南、永山、東大和南、東久留米総合)

③ 自己PRカード…出願の際に提出します。

④ 都立高校の推薦受検には、「**一般推薦**」「**文化・スポーツ等特別推薦**」「**理数等特別推薦**」があります。



\*特別推薦理数は、立川高校(理数)、科学技術高校(創造理数科)で実施。

「**一般推薦**」…通常の推薦受検

「**特別推薦**」…スポーツ・文化的技能等、高校が指定した種目や分野に突出した生徒を選抜する推薦受検。文化・スポーツ等特別推薦の基準に、大会の実績は特にありません。「実績等を証明する書類等の写し」の提出も求められません。

「**特別推薦(理数)**」…理数系分野の素養を前提に、課題解決力、他の考えから自分の考えを深める力、創造性などを評価。科学分野のレポート等で選抜されます。

・推薦人員は、「一般推薦」と「特別推薦」の合計です。

・「特別推薦」を受ける生徒は「一般推薦」にも出願できます。その場合、入学考査料は2回分(2,200円×2)となります。

◆ 選考

選考は、調査書点\*のほか、個人面接及び集団討論、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査の各点数を総合した成績で行います。

調査書点	個人面接・ 集団討論点	小論文又は 作文点	実技検査点 (実施する学校)	その他学校が設 定する検査点
総 合 成 績				

\*調査書点は「観点別学習状況の評価」(A・B・C)又は「評定」(5・4・3・2・1)のうち、どちらか一方を点数化します。各学校が定めます。

## 4 私立高校の入試について

### ◆受験の種類

「第一志望受験」「併願受験（第二志望受験）」「一般受験（フリー受験）」の3種類があります。名称は各学校によって異なる場合がありますので、注意が必要です。

### 私立高校の一般入試について

◆ 成績基準など一切なく、優遇制度もない入試です。入試相談を行わずに受験できます。学科試験（国語・数学・英語の3教科が多い）と面接、調査書等で選考されます。推薦入試がなく、一般入学試験のみ実施という学校もあります。一方で、定員のうちほとんどが併願受験（第二志望受験）で、一般受験の募集枠が少ない高校もあるので、よく調べておく必要があります。

### 私立高校の推薦入試（併願優遇も含む）

#### (ア) 受験（検）校の検討 → 三者面談（10月25日～10月31日）

- ① 三者面談で、「第3回進路希望調査」に記入された推薦希望の有無を確認します。この時点で希望がある場合、担任から「推薦希望書」が渡されます。
- ② 推薦入試の条件に合致するところがあるかどうか、担任・保護者・生徒本人で確認します。また、事前に説明会などに参加しておくのも条件の一つです。
- ③ ①の「推薦希望書」を提出していただいた後、学年会議・職員会議を経て「推薦」にふさわしいかが審査されます。最終的に本校校長の承認を得られた生徒が、「推薦入試」を受ける資格を得ることになります。
- ④ 三者面談後に推薦を希望することになった場合は、担任に御連絡ください。

#### (イ) 受験（検）校の決定 → 生徒理解週間（12月4日～12月8日）

12月の三者面談は、受験（検）校の最終確認（最終決定）をします。

「推薦基準」に合致し、受験（検）校が決定したところで、「推薦願」「第二志望優遇願」等の書類をお渡しします。学校名を明記し、面談の翌日に提出してください。また、面談後、生徒・保護者は出願に必要な書類をなるべく早くそろえてください。書類等の提出を受けて、学校では入試相談に必要な書類の作成を行います。

#### (ウ) 入試相談 → 12月15日以降

推薦入試の受験の可否について、四中の教員が私立高校の「入試相談」に行きます。入試相談の結果次第で、再度面談を行う場合があります。

#### (エ) 必要書類の作成 → 12月中旬～1月中旬（担任）

「入試相談」の結果については、生徒本人に伝えます。その後、担任が必要書類を作成し、校長の承認を得、受験の準備を進めていきます。

#### (オ) 推薦入試出願 → 1月15日頃～

## 5 私立高校「推薦入試」受験での注意点

### ◆出願関係書類の確認等

高校所定の調査書や推薦書が入試要項に含まれている場合が多いので、12月の面談後、早めに出願に必要な書類の準備をしてください。また、生徒本人・保護者で入試要項などの書類に十分目を通し、手続き上の漏れがないように注意してください。

担任は、各生徒の様々な書類の作成を短期間に行うこととなります。担任への書類作成依頼（調査書作成願封筒）は、期限に余裕をもって提出してください。

### ◆推薦入試受験には多くの学校で「入試相談」があります。

12月15日に一斉に私立高校の入試相談が開始されます。事実上、推薦入試では、この入試相談が必要な手続きの第一段階となっています。この入試相談に相談出来ない場合は、推薦入試を受験することは難しくなります。そのため、推薦入試受験の意志は12月の面談で最終確認・最終決定しなければなりません。

### ◆「入試相談」後に受験校の希望変更は出来ません。

「推薦」という性格上、入試相談で受験者希望者名簿を提出し、高校側の「合格可能性」についての判断の確認をした後で、推薦を取り消すのは望ましくありません。入試相談後に気持ちが変わり、「他の高校に変更したい」ということがないように、慎重に検討してください。

## 6 「推薦」について

。「本校の推薦の条件」⇔ 目的意識や意欲、適性をもつ生徒を推薦することとする。

- ① 中学生としての生活をきちんと送っている。（学習・行事・生活態度・服装など）
- ② 受検（験）する学校の教育方針を理解し、共感する部分がある。
- ③ 進学のための目的がある。
- ④ 進路決定後、中学校や進路先の学校での生活をきちんと送り、努力を続けることができる。
- ⑤ 希望する上級学校が提示する推薦基準を満たしている。
- ⑥ 注意を受けたことをすぐに改善し、改善した状態で学校生活をおくることができる。

職員会議で話し合ったうえで、最終的に学校長が推薦を認定します。

(ア) 推薦基準で示したものが、「推薦」の条件全てではありません。

私立高校の場合、実際の「推薦基準」は目安として示されている場合が多く、その他に欠席日数・遅刻早退の回数等を条件として付加したり、また、部活動や生徒会活動などの実績を加味したりするなど、実際は学校ごとに様々です。具体的な条件については担任との面談の中で相談・確認していただきたいと思います。

都立高校は成績等の具体的な数値による推薦基準は設けていませんが、「本校の期待する生徒の姿」が示されており、これが目安となります。各教室に備えてある冊子や東京都教育委員会のHPでご確認ください。

### (イ) 推薦で受験できることが、即合格ではありません。

基準を満たし「推薦」として受験が認められても、合格を保証されたわけではありません。あくまでも「推薦」での受験を認められたに過ぎません。当日の面接や検査で力が発揮できなければ、不合格になることがあります。適性検査(国数英などのテスト)を実施する高校も多く「推薦」が認められても油断せず、できる限りの努力をしなければなりません。

都立高校の「推薦入試」については、倍率からみても合格率は低く、狭き門であることは周知の通りです。

「推薦」イコール合格の確約ではないことを念頭に、堅実に学校生活を送りましょう。

### ◆「推薦」入試は合格したら必ず入学することが条件です。

推薦入試(第一志望)で受験した場合は、合格したら、必ず入学することが条件です。第一志望であるからには、合格後の志望校変更はできません。もちろん、他の学校を受験することもできません。

また、第二志望優遇(併願優遇)で受験した場合は、第一志望が不合格となった場合には必ず入学することが条件となります。

- ◆ 併願優遇制度があっても、「加点」優遇にすぎず、試験当日の得点次第では不合格となる高校もあります。説明会等で確かめておきましょう。

## 7 (都立高校・私立高校)受験する際のパターン

基本的に推薦として受験できるのは、第一志望の学校一校のみです。

次のようなパターンが考えられます。

### ① 第一志望の私立高校を推薦で受験

- ※他の学校は受験できません。当然、都立高校等を推薦で受験することもできません。
- ※合格したら、必ずこの学校に進学します。

### ② 第一志望の都立高校を推薦で受験

- ※合格したら他の高校は受験できません。この都立高校に必ず進学します。
- ※私立高校を推薦で出願および受験することもできません。

### ③ 第一志望の都立高校を推薦で受験

＋ 第二志望の私立高校を第二志望優遇(併願優遇)で受験(一般入試と同日)

- ※ 都立高校に推薦で合格した場合は、第二志望の私立高校は受験しません。
- 入試相談で併願優遇が認められていた場合、中学校から私立高校へ連絡を入れます。
- ※ ただし、都立高校に推薦で合格しても、「出願」だけはしなくてはならない私立高校もあるので、事前に確認しておく必要があります。

- ④ 第一志望の都立高校を一般入試で受検  
+ 第二志望の私立高校を第二志望優遇(併願優遇)で受験 (一般入試と同日)

※第一志望の都立高校が不合格の場合は、必ず併願優遇を得た私立高校に進学します。

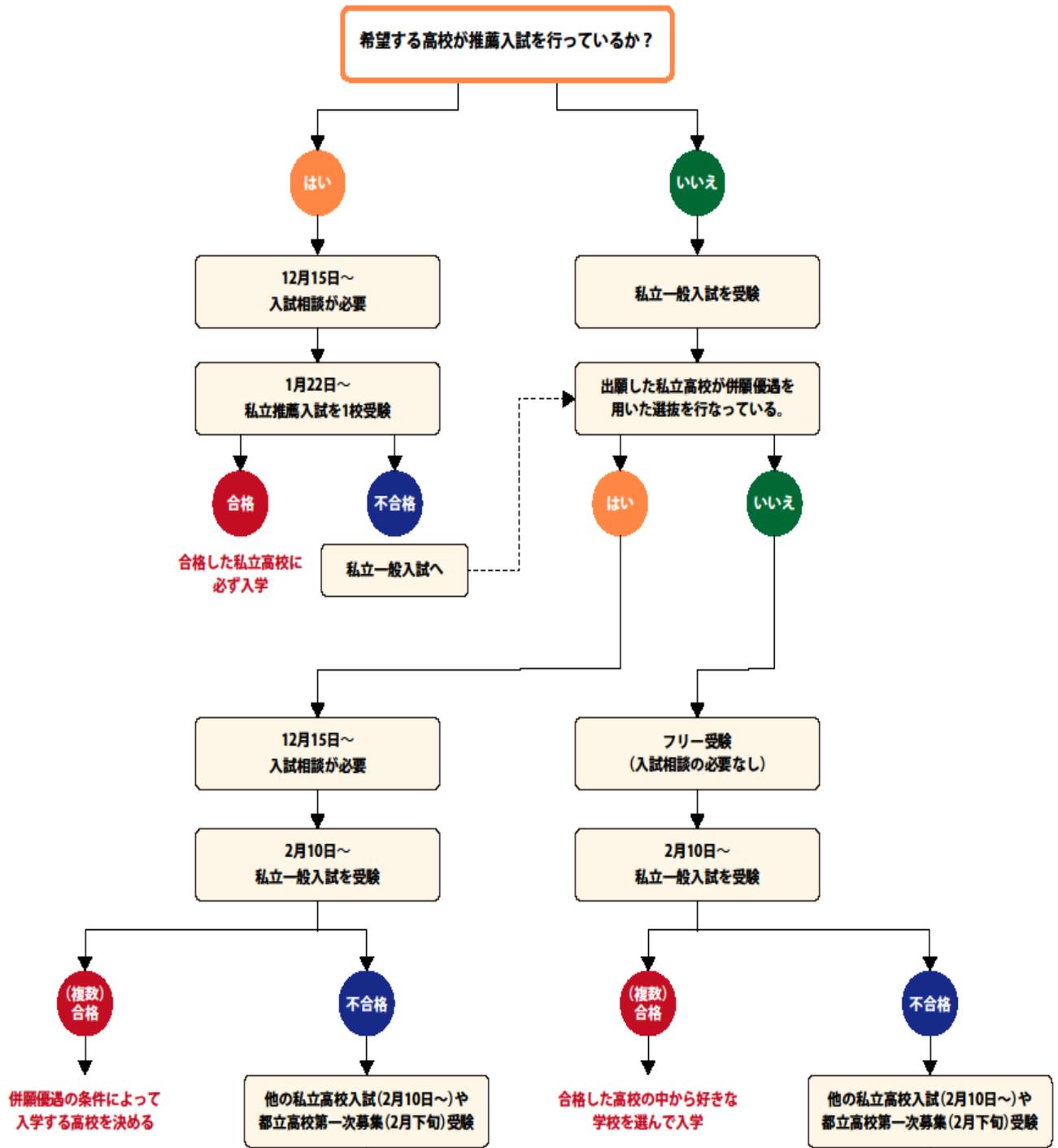
- ⑤ 第一志望の私立高校を一般入試で受験  
+ 第二志望の私立高校を第二志望優遇(併願優遇)で受験 (一般入試と同日)

※第一志望の私立高校が不合格の場合は、必ず併願優遇を得た私立高校に進学します。

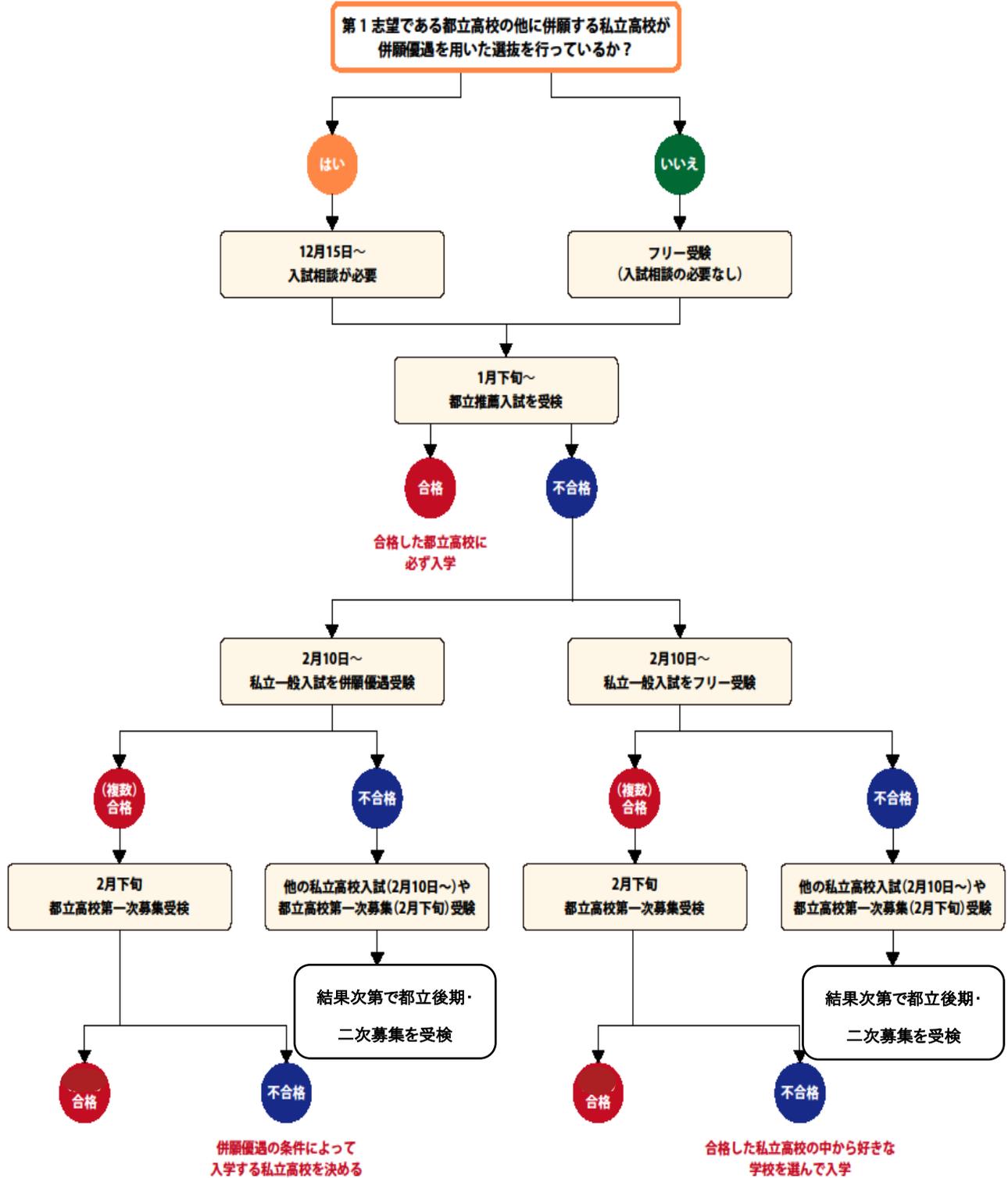
注意 私立高校の中には併願優遇制度のない学校もあります。募集要項を見て、担任の先生と確認してください。

～メモ～

## ■ 私立高校が第1志望 ■



## ■ 都立高校が第1志望 ■ (併願する私立高校を決める)



## 8 私立高校の延納制度

私立高校によっては、合格発表後、入学手続き(入学金、授業料等の納入)を都立高校の発表当日、または翌日まで待ってくれる制度(延納制度)があります。ただし、所定の手続きをしないと合格が取り消されてしまいますので、確認してください。

<必要な手続きの例>

- ①私立高校発表後の数日以内に延納願いの書類を提出する
- ②入学金等の一部納入
- ③入学願書に「第一志望(都立高校)名」を記入する など

※なお、私立高校が第一志望で推薦受験した場合は、合格発表後すぐに納入しなければなりません。

## 9 連絡事項

◆受験(受検)写真 → 今年は**12月1日(金)**に撮影します。

学校で撮影します。(カラー4枚[3cm×4cm]、電子データのセット…1,400円[税込み])  
教材費から支出。

◆学校への相談は随時受け付けています。

何かありましたら、面談期間以外でもご相談ください。その際は事前にご連絡ください。

◆出願や合格発表の結果は、速やかに中学校へ報告してください。

発表が休日の場合、中学校への報告は次に登校した時でかまいません。すべての結果を速やかに報告してください。

◆言葉遣いやあいさつなど、普段から意識しましょう。

「本番だけちゃんとやる」という考えは通用しません。普段から、家族や先生に対する言葉遣いに気を付けていきましょう。また、服装などの身だしなみも整え、今から習慣づけましょう。

令和6年度の入試日程 (自分のスケジュールを確認しよう！)

	月	火	水	木	金	土	日
1月	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
2月	29	30	31	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
3月	26	27	28	29	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	
	18	19	20	21			
	25	26	27	28	29	30	31

都立推薦出願期間～

私立推薦出願～

私立推薦入試

私立一般出願～

都立推薦入試

都立推薦入試

都立一般出願期間～

都立推薦  
合格発表

10 建国記念の日  
私立一般入試・合格発表など

都立一次（前期）取り下げ

都立一次（前期）再提出

都立一般入試

天皇誕生日

都立一般  
合格発表

分割後期募集・  
願書受付  
(窓口)

都立後期  
(二次)  
取り下げ

都立後期  
(二次)  
再提出

分割後期・  
二次入試  
追検査実施

分割後期・二次  
合格発表

第一次募集で出願した都立高校を、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等に罹患し、受検できなかった者が対象

卒業式

春分の日

定時制二次  
出願

定時制二次  
発表

## 進路関係の資料 一覧

	資料内容	提出〆切日	備考
	第3回進路希望調査	10/12(木)	10/4日(水)に配布済み
資料 1	住所・氏名等の確認	10/18(水)	10/4(水)に配布済み 住民票と同じ記載にする
資料 2	推薦希望書	11/2(木)	10～11月の生徒理解週間で希望家庭に配布
資料 3	調査書「諸活動の記録」記載事項の確認	11/10(月)	10/24(火)配布、記入内容を保護者も確認
資料 4	第4回進路希望調査	11/17(金)	11/2(木)配布
資料 5	推薦願・第二志望(併願)優遇願	12/8(金)	11～12月の生徒理解週間で(推薦が認められた人のみ)
資料 6	調査書作成願(封筒)	12/18(月)	学校指定の調査書用紙があれば提出(国立・私立)
学級指導で	面接Q&A	11月中	面接等対策
学級指導で	自己PRカード	12月中	下書き、清書

◆私立の書類は全て「資料5 調査書作成願(封筒)」に入れて提出。12/18(月)提出〆切です。

※記入上の注意をよく読み、間違いのないように記入・提出してください。